

川越市国民健康保険 第2期保健事業等実施計画(データヘルス計画)の結果について

資料13

1 計画全体の評価

項目		毎年度評価項目	平成28年度	平成30年度	備考
基本データ	平均寿命(歳)				
		男性	80.38	81.07	
		女性	86.04	86.75	
65歳健康寿命(歳)		男性	17.10	17.55	
		女性	19.88	20.08	
標準化死亡率(SMR) ※1	心疾患		108.9	103.0	埼玉県衛生研究所「地域の現状と健康指標」(埼玉県HP)より
		男性	118.6	113.1	
		女性	98.3	101.1	
	脳血管疾患		110.7	108.0	
		男性			
		女性			
医療	総医療費(円)	○	29,111,838,052	27,759,070,140	事業年報より
	1人あたり医療費(円)	○	322,258	340,001	1人あたり医療費=総医療費÷年度平均被保険者総数 H28:90,337人 H30:81,644人
介護	新規人工透析患者数(人)		85	86	KDBより H30目標値 1%減少(84人)
	総給付費(円)		1,394,560,000	1,592,045,000	介護保険事業月報(厚生労働省HP)より
	認定者数(人)		13,136	14,502	介護保険事業月報より
健診	特定健診受診率(%)	○	40.7	41.6	法定報告より R1.6.26現在 H30目標値 42.0%
	収縮期血圧の有所見率(%)	○	49.2	47.0	KDBより R1.7.19現在 計画策定時目標値 45%以下
	拡張期血圧の有所見率(%)	○	21.0	19.6	KDBより R1.7.19現在 計画策定時目標値 18%以下
	HbA1cの有所見率(%)	○	55.8	59.4	KDBより R1.7.19現在 計画策定時目標値 50%以下
	特定保健指導実施率(%)	○	14.0	5.1	法定報告より R1.6.26現在 H30目標値 16.0%

※1 標準化死亡率(SMR):ある集団の死亡率を年齢構成比の異なる集団と比較するための指標。表中の数字は埼玉県の平均を100とした時の、本市の死亡率

※2 KDB:国保(K)データ(D)ベース(B)(システム)

※3 平成30年度の実績が、目標値を上回ったものは、下線を引いています。

2 個別事業

①生活習慣病重症化予防事業

事業	ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
糖尿病性腎症重症化予防事業	①事業の予算確保 ②県共同事業参加	①医療機関へ文書による参加呼びかけ ②実施医療機関向け説明会実施、事業結果のフィードバック	①参加医療機関数 ②保健指導参加者数	新規人工透析移行者(H28 85人)	・保健指導参加者数 H30年度参加者:47名 継続支援対象者:12名 ・参加者を増やすため、R1年度の参加医療機関を募る際には、保健指導の実例を紹介する。
	①予算確保 ②事業参加	①実施 ②実施	①40医療機関 ②50人	1%減少	
	①予算確保 ②事業参加	①実施 ②実施	①36医療機関 ②47人	1%増加 86人	
高血圧症予防事業 ※ 継続的な保健指導の実施については、新規	①事業の予算確保 ②保健指導従事者の確保	①受診勧奨実施(通知・電話) ②保健指導の継続実施	保健指導実施人数 40人	①事業参加者うち血圧の数値が改善した人 ②アンケートで生活習慣が改善した人	・3カ月経過後の確認では、参加者ほぼ全員に生活習慣の改善が確認できた。 ・参加者数が目標値よりも大幅に少なかった。対象者等を見直し、改善結果を案内に入れ、周知を図る。
	①予算確保 ②従事者確保	①実施 ②実施	16人	①60% ②60%	
	①予算確保 ②従事者確保	①実施 ②実施		①75.0%(12人/16人) ②93.8%(15人/16人)	
(新規)個人の状況に合わせた啓発	①啓発実施に係る予算確保 ②対象者の抽出	対象者に応じた受診勧奨案内作成	啓発実施件数(通知・電話計) 800件	血圧の受診勧奨対象者率(特定健診) ①収縮期血圧 ②拡張期血圧 (H28 ①49.2% ② 21.0% 保健指導判定値) ①45%以下 ②18%以下	過去3年のうち2年健診結果がある方を対象者に、特定健診受診勧奨と兼ねて啓発通知を送付。通知には健診結果の推移及びそれに基づくアドバイスを掲載している。
	①予算確保 ②実施	作成	2,000件	①47.0% ②19.6% (7月19日現在)	
	①予算確保 ②実施	作成	12回	①45%以下 ②18%以下 ①47.0% ②19.6% (7月19日現在)	
資料提供による啓発活動後押し	健康づくり支援課との調整	①啓発用資料作成 ②啓発機会の定期的な把握	資料を活用した啓発の実施回数 10回	血圧の受診勧奨対象者率(特定健診) a 収縮期血圧 b 拡張期血圧	川越市の平均寿命、健康寿命、生活習慣病に係る医療受診率等を掲載した資料を作成し、啓発に活用した。
	実施	①作成 ②実施	12回	①45%以下 ②18%以下	
	実施	①作成 ②実施		①47.0% ②19.6% (7月19日現在)	

②啓発

事業	ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
(新規) 地区ごと の啓発	①健康づくり支援課と定期的な打合せ実施 ②地区別啓発用資料作成	①地区の傾向の分析実施 ②傾向に応じた啓発の検討(R1年度以降)	地区の傾向に応じた啓発の実施回数 毎年度70回	各地区の健診受診率(H28市全体の受診率40.7%) 毎年度2%上昇	高階地区をモデル地区として資料を作成し、啓発を行った。また、次年度に向けた啓発として、H31.2月に地域包括支援センターたかしかの主催の地域ケア会議出席し、地区の受診率を伝え、受診勧奨を行った。他の地区についても地区担当保健師に地区の健診受診率等を伝え、啓発に活用してもらった。R1年度の対象地区等については、健康づくり支援課と話し合う。対象地区のみでなく、全地区の情報を地区担当保健師、地区の関係機関等に伝え、啓発活動を推進する。
	①実施 ②資料作成	①実施 ②検討	78回	2%上昇した地区:0 受診率が上昇した地区:9 下がった地区:2 ※市全体としては0.9%の上昇 7月19日現在の数値(KDBより)	
(R1新規) 啓発媒体 こと の 効果検証	検証方法の決定(H30年度)	検証のための情報収集(アンケート等)(R1年度以降)	効果検証の実施	検証に基づく啓発改善(R1年度以降)	・前例でH30年度に効果検証を実施した。 ・R1年度は効果検証の結果に基づき、ポスター及び市ホームページの改善に取り組む。
	決定 決定	情報収集実施 情報収集実施	毎年度1回 1回	毎年度1回	
(新規) 特定健診未受診者へタイプ別受診勧奨	①勧奨に必要なチラシ等の予算確保 ②タイプの分類方法の決定	①健診未受診者のタイプ別分類 ②タイプに合わせた勧奨の実施	勧奨件数(電話・通知計)	特定健診受診率(その他のタイプの分類により指標追加の場合あり)	・新規対象者、若年層(40~59歳)、隔年受診者、受診率が低い地区、その他未受診者に分け電話による受診勧奨を実施した。 ・年代、性別ごと8種類の通知を作成し、未受診者に勧奨
	①予算確保 ②決定 ①予算確保 ②決定	①分類実施 ②勧奨実施 ①分類実施 ②勧奨実施	毎年度10,000件 電話18,292件 通知18,000件	毎年度2%上昇 6月26日現在41.6%(目標42%)	
(R1新規) インセンティブ 提供	①提供方法決定(H30年度) ②予算確保	インセンティブ提供方法の整備・周知(R1年度以降)	提供件数(R1年度以降)	特定健診受診率(R1年度以降) (その他提供方法により指標追加の場合あり)	インセンティブによる提供物を、QUOカードに決定した(1万円分を3名、千円分を60名)。R1年度特定健診受診者から当選者を抽選する。
	①決定 ②予算確保 ①決定 ②予算確保	実施 実施(作業手順整備)	毎年63件 —	毎年度2%上昇	
健診結果・診療情報提供事業の拡充	予算確保	特定健診未受診者への周知	診療情報の提供数(H28 387件)	健診結果・診療情報による受診率の向上	H30年度 人間ドック等347件(+53件) 診療情報56件(-37件) 通知による特定健診受診勧奨と併せて啓発を実施。昨年度は封書で申請書を送付。特に診療情報提供件数の増加に向け、検討を進める(川越市医師会との話し合い等)。
	予算確保 予算確保	実施 実施	毎年度15件増加 16件増加(403件)	毎年度2%上昇 6月26日現在41.6%(目標42%)	
(R1新規) 医療機関へ健診趣旨の再周知	医療機関との調整(30年度)	受診率向上への協力依頼を含めた研修会を実施(R1年度以降)	研修会実施	説明会参加医療機関	H31年1月に川越市医師会に依頼した。R1年度に具体的な日程調整、医療機関への声かけを実施する。
	実施 実施	実施 R1年度に実施	毎年度1回 R1年度に実施	10機関 —	

③環境整備

事業	ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
事業 (R1新規) 医療機関等と の連携	評価 指標	①医師会・医療機関との調整 ②医療機関への提供資料準備	アンケート実施及び資料提供	集まった意見に対する改善 (R1年度以降)	H30年度中に資料提供及びアンケート を前倒しで実施した。意見に対する改 善はR1年度に実施する予定。
	目標	①実施 ②資料準備	毎年度1回	毎年度1回	
	実績	①実施 ②資料準備	1回	—	
市内他部署と の連携	評価 指標	①関係課と定期的な会議を設ける ②他部署との調整	①庁内会議参加数 ②他部署の教室・イベント等の 紹介数	①特定健診実施体制 ②特定保健指導実施率	① 庁内会議開催数(ときも健康プロ ジェクト) ・ワーキンググループ:3回 計5回 ・推進部会:2回 ② イベント紹介 生涯スポーツフェスティバル 介護予防普及啓発講演会 等 ・その他の情報提供 ・地域包括支援センター コハトン健康マイレージ 熱中症予防 ・R1年度は、健康まつりに『ときも健 康プロジェクトコーナー』を置き、各課事 業をPR
	目標	①実施 ②実施	①5回 ②3件	①改善 ②毎年度2%上昇	
	実績	①実施 ②実施	①5回 ②イベント6件(他部署は2) その他情報3(他部署は1)	① 胃がん検診の同時実施の 実現 ②6月26日現在5.1%(目標 16%)	
関係団体等と の連携	評価 指標	関係団体との協力体制構築	協力関係団体数	特定健診受診率	H30年度の関係機関との協力体制構築 の取組み ①民生委員、児童委員協議会連合会 の理事会で健診の啓発依頼 ②協会けんぽとチャラン作成 ③JAで健診結果説明会実施・JAまつ りで特定健診啓発 ④地域ケア会議へ出席し、健診受診を PR R1年度も、引き続き関係団体の会議、 イベント等に出向き、啓発等を推進
	目標	体制構築	10団体	毎年度2%上昇	
	実績	体制構築	10団体	6月26日現在41.6%(目標42%)	